作成日：2024 年　12 月　21 日

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

発育性股関節形成不全に対する寛骨臼回転骨切り術の手術目標点 -20 年経過例の術後大腿骨頭中心位置の変化についての検討-
１．研究の対象および研究対象期間 研究の対象：昭和大学病院で発育性股関節形成不全に対して寛骨臼回転骨切り術を施行された患者さん 研究対象期間：1984 年 1 月から 2011 年 12 月まで
２．研究目的・方法 発育性股関節形成不全に対して寛骨臼回転骨切り術を施行し，術後 20 年以上経過している患者さんを対象とし，単純 X 線写真股関節正面像を用い,術前と術直後の大腿骨骨頭中心の位置の変化を計測します。これにより、術後 20 年での関節症進行と大腿骨頭中心の位置について関係が明らかになると考えられ、本術式の手術の目標点をより明確にします.
３．研究期間 昭和大学における人を対象とする倫理委員会承認後、研究機関の長の実施許可を得てから 2025 年 12 月 31 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 カルテ情報から,年齢,性別,身長,体重,診断病名,既往歴,現病歴,併用薬,術後合併症,股関節可動域,術前,術直後,最終診察時の単純 X 線写真股関節正面像を使用いたします。
５．外部への試料・情報の提供 該当いたしません
６．研究組織 研究責任者　昭和大学 医学部 整形外科学講座　　吉川　泰司

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部整形外科学講座　　氏名：吉川　泰司
住所：東京都品川区旗の台 1-5-8　　電話番号：03-3784-8543